

第 41 回全国環境研究所交流シンポジウム

2026(令和 8)年 2 月 19 日(木)～2 月 20 日(金)

於 国立環境研究所及びオンライン

司会：菅田 誠治(国立環境研究所 企画部)

2 月 19 日(木)

13:30～13:35 開会挨拶

国立環境研究所 理事長 木本 昌秀

13:35～13:40 来賓挨拶

環境省大臣官房総合政策課 環境研究技術室長 中村 真紀

13:40～13:45 事務連絡

特別講演

(1) 13:45～14:30 「廃棄物処理からの有機フッ素化合物(PFAS)排出量把握に関する研究」

○松神 秀徳(国立環境研究所)

研究発表 <PFAS・廃棄物処理>

座長：松神 秀徳(国立環境研究所)

(2) 14:30～14:55 「最終処分場浸出水中 PFAS の活性炭処理による除去特性に関する実証的研究」

○渡邊 育弥(大阪府立環境農林水産総合研究所)

(3) 14:55～15:20 「北海道 PCB 廃棄物処理事業における環境モニタリングの成果と将来への示唆」

○姉崎 克典(北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所)

15:20～15:30 (休 憩)

<気候変動適応>

座長：真砂 佳史(国立環境研究所)

(4) 15:30～15:55 「群馬県における暑さ指数と熱中症救急搬送者数の解析」

○熊谷 貴美代(群馬県衛生環境研究所)

(5) 15:55～16:20 「北海道の熱中症搬送者と対策、および暑さの将来変化について」

○大屋 祐太(北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所)

(6) 16:20～16:45 「WBGT 機器の比較観測結果」

○大和 広明(埼玉県環境科学国際センター)

(7) 16:45～17:10 「猪苗代湖におけるカビ臭物質の発生予測」

○落合 孝浩、木村 和貴(郡山市環境部環境保全センター)

(8) 17:10～17:35 「日本全国の暑熱環境予測に基づく学校の屋外活動への影響評価」

○大山 剛弘(国立環境研究所)

2月20日(金)

9:30～9:35 事務連絡

研究発表 <大気汚染・化学物質>

座長:菅田 誠治(国立環境研究所)

(9) 9:35～10:00「化学輸送モデルに AI 技術を取り入れた新たな大気汚染予測システムの開発と実用化」

○山村 由貴(福岡県保健環境研究所)

(10) 10:00～10:25「自動同定定量システム(AIQS-GC)を用いた北九州市内公共用水域の平常時のスクリーニング分析について」

○陣矢 大助(北九州市保健環境研究所)

10:25～10:35 (休憩)

<環境DNA・水環境・生態系>

座長:熊谷 直喜(国立環境研究所)

(11) 10:35～11:00「脊椎動物ユニバーサルプライマーの選定と課題-国Ⅱ型研究成果報告-」

○長谷部 勇太(神奈川県環境科学センター)

(12) 11:00～11:25「赤土流入量の異なる生息環境に移植したサンゴの成長・生残について」

○比嘉 彩也香(沖縄県衛生環境研究所)

(13) 11:25～11:50「web 市民参加調査によるサンゴ白化の可視化とモデリング解析」

○熊谷 直喜(国立環境研究所)

11:50～11:55 閉会挨拶

国立環境研究所 理事 三枝 信子